

2021(令和3)年度 関西保育福祉専門学校
第1回教育課程編成委員会報告

本校の教育課程編成委員会設置要綱に基づき設置した教育課程編成委員会において、第1回委員会を開催いたしましたので、

1. 開催日時 2021(令和3)年9月21日(火) 15:00～17:00

2. 開催場所 関西保育福祉専門学校 校長室

3. 出席者

【委員】

名 前	所 属 等	備考
北野 幸子	神戸大学 人間発達環境学研究科 准教授	出席
得平 正宏	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 事務局長	出席
赤井 祐	社会福祉法人聖隷福祉会 宝塚せいれいの里 ケアサービス課 課長	欠席
浅田 尚子	尼崎市立西長洲保育所 所長	出席
北島 孝通	幼保連携型認定こども園庄内こどもの杜幼稚園 園長	出席
濱田 洋行	社会福祉法人協同の苑 協同の苑六甲アイランド 施設長	出席
黒岩由美子	社会福祉法人ふたば福祉会 塚口北ふたば保育園 園長	出席
細川 明子	関西保育福祉専門学校 教頭	出席
藤井 和子	同上 教務委員長	出席
藤田 千波	同上 保育科学科長	出席
尾崎 朋子	同上 介護福祉科学科長	出席
吉田しのぶ	同上 保育科教員	出席

【オブザーバー】

本田 あけみ	関西保育福祉専門学校校長 関西国際大学経営学部教授	出席
--------	---------------------------	----

4. 概 要

(1) 校長あいさつ

(2) 委員長の選出

設置要綱により、藤井和子教務委員長が選出された

(3) 報告事項

1) 介護福祉科募集停止について

■ 学校から資料に基づき説明

□ 委員からの意見

・募集停止により、空き教室ができるが、どのように活用していくのか。

→保育科の実習室としての活用を考えているが、さらに地域貢献や学校としての収益につながる方向も検討していく。

2) これまでの教育課程編成委員会からのご意見とその対応について

■ 学校から資料に基づき説明

- ・保育科1年生は、「ICT活用」の授業を中心に、導入したiPadを活用した授業展開に取り組む。
- ・学生指導の観点から、あいさつ、言葉遣い、清掃など授業だけでなく学校生活全般において、学生の言動を承認する取り組みを進める。

□ 委員からのご意見

- ・学生の言動を承認することはとても大事である。採用試験などでも、自分に自信が持てない学生が見られる。何か、自分で自信が持てるものを学校在籍中に身につけておくことが重要である。
- ・生活が自立していない中では、先を見通す力がなく、実習をやり通すことが難しい。

3) 学校の現状について

■ 学校から資料に基づき説明

- ・2020年度卒業生の就職・進路決定状況について、特に公務員に7名、合格することができた。
- ・2021年度入学者の状況。保育科、介護福祉科ともに、定員を満たしていない状況。介護福祉科1年の入学生のうち、68%が外国人留学生となった。
- ・新型コロナウイルス感染への対応として、登校時の検温・手指消毒など基本的な感染予防を徹底するとともに、ワクチン接種を推奨した。対面授業とオンライン授業を併用したカリキュラムを実施した。

□ 委員からのご意見

- ・就職内定者の内訳で、幼稚園への就職者数が少ないが、要因はなにか。
→幼稚園への就職は従来より少ない傾向にあったが、幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行し、こども園への就職となっている。
- ・保育科も定員を満たしていないが、現在の募集状況はどうか。
→年度当初の出だしはよかったが、7・8月は、出願がとまっている。他の専門学校等の状況も同様と聞いている。

(4) 協議

【2021(令和3)年度の取り組み】

1) 学校としての取り組み

■ 学校から資料に基づき説明

□ 委員からのご意見

① 学校経営重点目標に関して

- ・オープンキャンパスを充実させていきたいとのことだが、現在の状況はどうか。
- ・昨年度に比して、高校2年生・1年生の参加が増えている。他校でも、オープンキャンパスを開催すると、参加者が集まる傾向があると聞いている。
- ・自身の経験では、オープンキャンパスでは、近いモデルとして憧れを持って学生が一番に見ていた。教育以前に人を集める戦略として、在校生と一緒に取り組むことが大事ではないか。在校生もコミュニケーション力など、成長して行くと考える。

- ・福祉や地域活動の担い手不足が顕著である。人と接する仕事がしたいという気持ちを育てる福祉教育が必要である。例えば、子ども食堂は、尼崎市内に 30 ヶ所設置されており、ボランティア活動ができる。
- ・対人関係では、印象が大きなウェイトを占めている。コミュニケーション力、表現力を身につけることが必要。
- ・iPad 導入については、現場で役に立つ取り組みである。施設でも、I T 機器は 80% 導入されている現状があるので、「慣れる」ということでも、学校で取り組む必要がある。
- ・対面授業は、対人関係の学習につながる。相手の表情や感情の読み取りや表現など、コミュニケーション力をつけるには必要である。
- ・Zoom でのオンライン授業では、ブレイクセッション機能を使ったグループ・ワークを実施したが、学生から授業を受けている相手が分かったという声が聞かれた。
- ・オンライン授業においても、安心できる場づくりから始める必要がある。
- ・Zoom を活用してのオンライン授業の難しさはある。初めての場合、1 年生の入学当初のオリエンテーションなどで、Zoom を活用してやってみることもよいのではないかな。
- ・iPad では、アプリ「ロイロノートスクール」で自分たちの学びの記録が残るので、振り返りもできる。
- ・個人情報保護について、指導する必要がある。電車内で、携帯に情報を打ち込んでいるなどの話も聞く。

② 学校における新型コロナウイルス感染症対応について

- ・大学では 4 月の第 2 回の授業からすべてオンラインとなり、学生からの評価で課題が多いという不満の声があると聞いている。専門学校の 2021 年度前期の授業評価で、公平さ、平等性の評価点が高いのは、先生方の関わりが丁寧であるということで評価してよい。
- ・コロナ感染対策のワクチン接種の人数は、2 回接種済み。
- ・2 回接種済み。大学での職域接種 2 回目も 10 月 2 日が最終であった。実習受け入れ先からも、ワクチン 2 回接種完了か P C R 検査を受けておくことが求められることがあること、2 年生は就職先でもワクチン接種が求められることから、接種を推奨している。
- ・できるだけ協力して実習の受け入れを行っている。
- ・高齢者施設では、個別に P C R を受けてもらっている。基本的に、家族の面会は禁止しており、病院を退院して施設に入所という時には P C R を受けてもらうことになっているが、唾液が出ずに抗原検査で対応することもある。
- ・学生のワクチン接種率が 2 年生の方が低い。保育現場の現状を考えると、子どもから感染する可能性が高まっている。保護者からも、「先生、大丈夫？」の声が聞かれる。可能な限り接種しておく方がよい。
- ・2022 年度入学予定者には、入学前の案内文書で、ワクチン接種を推奨している。
- ・保育所やこども園などでは、アルバイトをしたいという学生数が増えている。他分野から、保育所などに流れている。

- ・保育現場では、マスク生活が続いているため、子どもたちは顔の目に集中して表情を読み取ろうとしている。保育者はマスクをしているからこそ、表現力をつけておいてほしい。
- ・子どもたちは、コミュニケーション力以前の喜怒哀楽の表情を読み取る。豊かな表現力が求められる。
- ・協力して一つのものを作り上げていく経験は大事であるが、コロナ禍の中で、行事が全て中止になっており、そのような経験をする場と機会がなくなっている。今後、どのように経験していくのが重要である。
- ・保健所の濃厚接触者の指示が明確ではない。14 日間の始まりと終わりを確認する必要がある。

2) 保育科、介護福祉科の取組

■ 学校から資料に基づき説明

□ 委員からのご意見

- ・校内実習では、保育現場の先生にも参画してもらいプログラムを作成する、現場の先生が指導する機会を設定する、オンラインで対話するなどの工夫が必要である。
- ・子どもと触れ合う機会ということで、保育所でアルバイトなら受け入れることができる。
- ・アルバイトであれば、時給 1,100 円程度になる。学校でアルバイトの集約、登録などができればよい。
- ・校内実習より、効果が期待できる。

(5) 事務連絡

- ・次回は、2022 年 2 月 3 月に予定している。